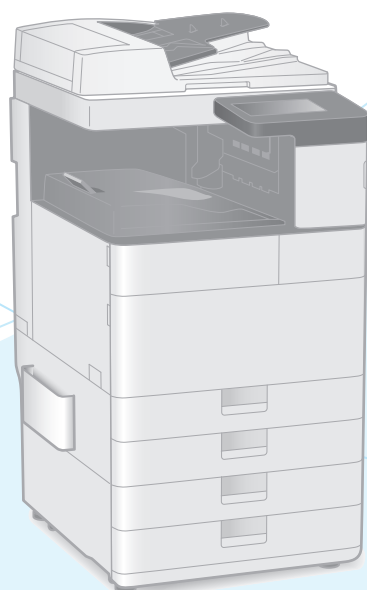


Canon

Satera MF7525F

はじめに お読みください



本機の設定をしよう



日常的にお使いになるときに

付録

設定のしかたと使いかた

ご使用前に必ず「安全にお使いいただくために」をお読みください。➡ P.19

お読みになった後は

本書は将来いつでも使用できるように大切に保管してください。
※本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

macOSをお使いのお客様へ

macOS 用ドライバーの対応状況はキヤノンホームページでご確認ください。

商品別 OS 対応状況は <https://canon.jp/support> を、最新ドライバーのダウンロードについては <https://canon.jp/download> をそれぞれご覧ください。



本機の全機能は、ユーザーズガイド
で説明しています。

<https://oip.manual.canon/>
でご覧いただくことができます。

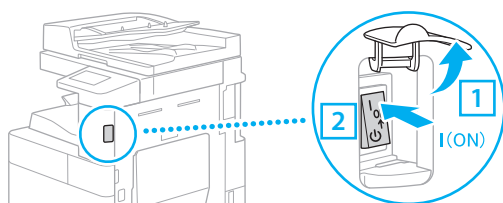


設定する

本体の初期設定をする

設置終了後、最初に電源を入れる

⇒ **設定ナビ**が起動します！



とりあえず
コピーを使いたいときは…

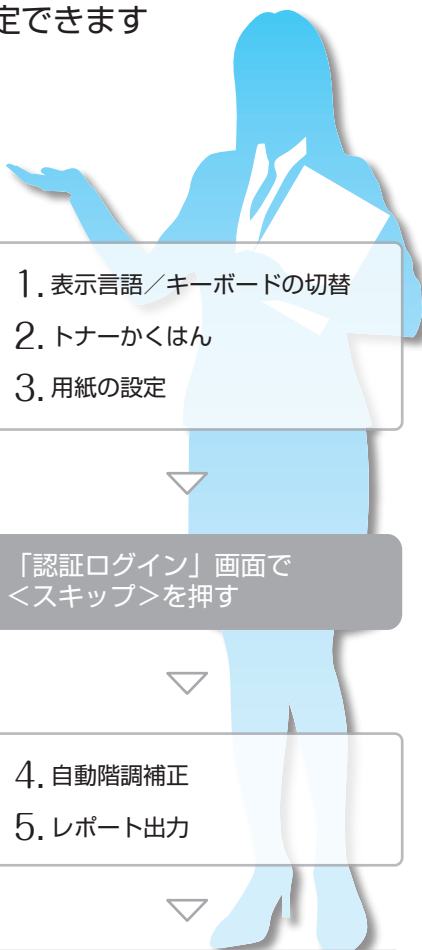
⇒ **CASE1** へ

すべての機能を使いたいときは…

⇒ **CASE2** へ

CASE1

どなたでも
設定できます



1. 表示言語／キーボードの切替
2. トナーかくはん
3. 用紙の設定



「認証ログイン」画面で
＜スキップ＞を押す



4. 自動階調補正
5. レポート出力

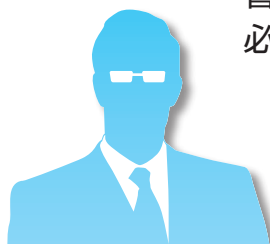


設定完了！

コピーなど限定的な機能が使えます。

CASE2

管理者権限が
必要です



1. 表示言語／キーボードの切替
2. トナーかくはん
3. 用紙の設定

4. 認証ログイン
お買い上げ時、暗証番号は
「7654321」に設定されています。

システム管理者のみ設定できます

5. ユーザー認証の設定
6. 日付・時刻設定
7. ネットワーク設定
8. ファクスの設定

9. 自動階調補正
10. レポート出力

続いて、必要に応じて右記の設定を
します。

ネットワーク環境を設定する



→ ユーザーズガイド

PMW-STNW

🔍 検索



検索番号の使いかた → 裏表紙

※無線LANで接続する場合も
こちらをご覧ください。

ドライバーをインストールする



→ ユーザーズガイド

PMW-INDR

🔍 検索

Eメール／ファクスの通信設定をする



→ ユーザーズガイド

PMW-STCM

🔍 検索

設定完了！

コンピューターからのプリントや
ファクスなど、すべての機能が使えます。

設定ナビについてもっと詳しく知りたいときは

→ ユーザーズガイド

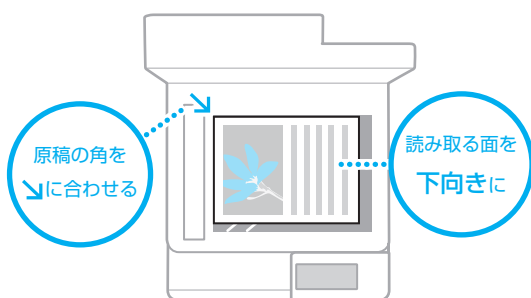
PMW-STSG

🔍 検索

お使いになる前に

原稿は正しく置きましょう

原稿台ガラスに置く



こんな原稿におすすめ



本、雑誌

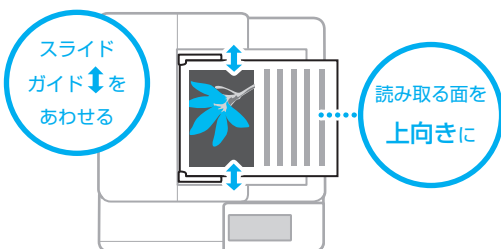


新聞の切り抜き

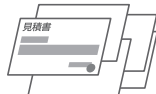


名刺

フィーダーに置く

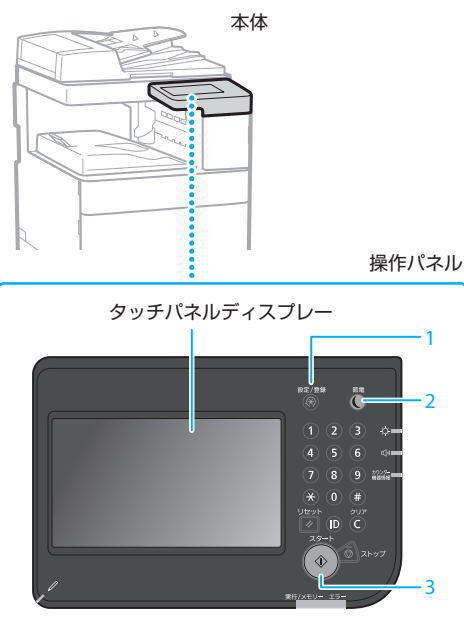


こんな原稿におすすめ



ページ数の多い資料や見積書など

操作パネルから操作開始



1. **[設定/登録] キー**
各種の登録や機能の設定をするときに押します。
2. **[節電] キー**
スリープモード（節電状態）を起動／解除するときに押します。
 - ・スリープモード：点灯
 - ・スリープモード解除：消灯
3. **[スタート] キー**
動作（読み込み）を開始するときに押します。

コピーする

1 原稿をセットする
➡ P.4 「原稿は正しく置きましょう」

2 ホームで<コピー>を押す



3 コピー部数を入力する

4 必要に応じて**コピー設定**をする



5 [スタート] を押す

■ ページ集約

複数の原稿を縮小して1枚の用紙にコピー。
用紙を節約できます。



■ 両面・片面

2枚の原稿を両面コピーしたり、両面原稿を2枚に片面コピーしたりできます。



■ 拡大・縮小

「A5→A3」など定型サイズ変倍や、1%刻みの
拡大／縮小ができます。



さらに詳しく知りたいときは

コピーする ➡ ユーザーズガイド

PMW-CPIG

🔍 検索

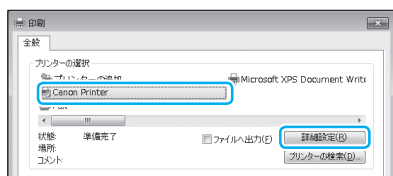


検索番号の使いかた ➡ 裏表紙

プリントする

1 印刷したい文書を開き、アプリケーションの印刷機能を選ぶ

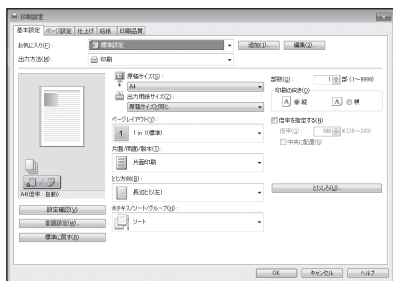
2 本機のプリンタードライバーを選び、[詳細設定] または [プロパティ] をクリック



3 用紙サイズを設定する

4 給紙部と用紙種類を設定する

5 必要に応じて**プリント設定**をする



6 [OK] をクリック

7 [印刷] または [OK] をクリック

■ 両面

用紙の両面に印刷。とじしろも設定できるので、ホチキス留めするときにも便利です。



■ 集約

複数のページを縮小して、1枚の用紙に印刷。サムネイルで閲覧したり、用紙を節約したりするときに便利です。



■ 製本印刷

用紙の両面に2ページずつ原稿を印刷します。用紙の中央で折ると本のような体裁に！



① 各機能の詳細およびそのほかの機能については、ドライバーのヘルプをご覧ください。

ファクスする

1 原稿をセットする
➡ P.4 「原稿は正しく置きましょう」

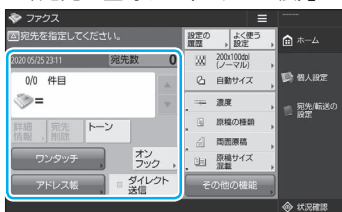
2 ホームで<ファクス>を押す



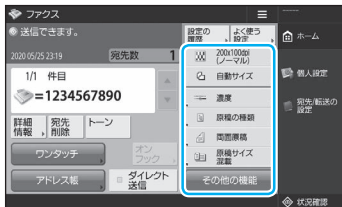
3 宛先を入力する

❗ よく使う宛先はアドレス帳に登録しておく便利です。

➡ P.9 「宛先を登録する(アドレス帳)」



4 必要に応じてファクス設定をする

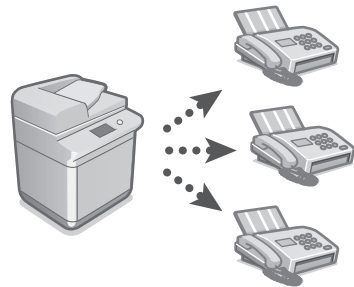


5 ① [スタート] を押す

用途に応じてファクス機能を使い分け！

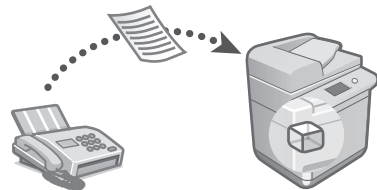
■ 同報送信

1回の操作で複数の宛先にファクスを送信できます。



■ メモリー受信

受信したファクス文書をいったんメモリーに保存して、好きなときに印刷できます。



■ PCファクス

パソコンで作成した文書を、印刷するのと同じ要領でファクスすることができます。

さらに詳しく知りたいときは

ファクスする ➡ ユーザーズガイド

PMW-FX1G

🔍 検索



検索番号の使いかた ➡ 裏表紙

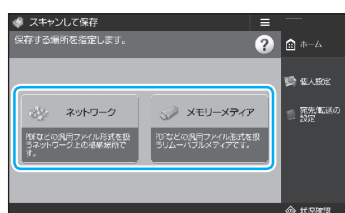
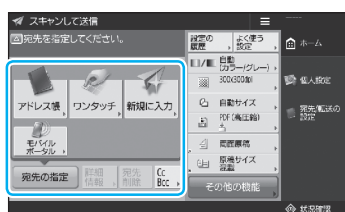
スキャンする

1 原稿をセットする
➡ P.4 「原稿は正しく置きましょう」

2 ホームで<スキャンして送信> / <スキャンして保存>を押す



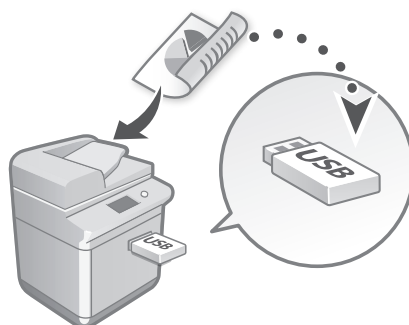
3 スキャンの種類を選び、情報を入力する



4 [スタート] を押す

■ USBメモリーに保存

本体に差したUSBメモリーに直接保存！データの持ち運びが簡単です。



■ Eメール送信

本機から直接Eメールで送信します。パソコンを通さずスピーディー！

■ ファイルサーバーへ送信

スキャンデータをパソコンの共有フォルダーやFTPサーバーに保存します。紙の資料をデータ化共有するときに便利です。

さらに詳しく知りたいときは

スキャンの基本操作
➡ ユーザーズガイド

PMW-BASC

検索

検索番号の使いかた ➡ 裏表紙

パソコンからスキャンするときは？

■ 付属のスキナードライバーを使う

読み込んだ原稿を、いつも使っているアプリケーションに直接取り込んで編集することができます。

パソコンを使ってスキャンする
(リモートスキャン)

➡ ユーザーズガイド

PMW-RSCN

検索

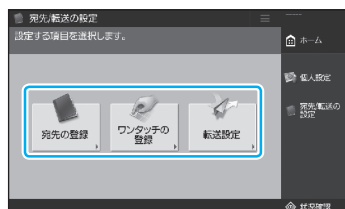
宛先を登録する（アドレス帳）

よく使う宛先は、あらかじめアドレス帳に登録しておくと簡単に呼び出せます。

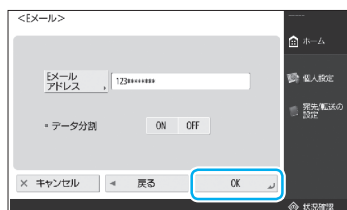
1 ホームで＜宛先 / 転送の設定＞を押す



2 宛先の種類を選び、情報を入力する



3 ＜OK＞を押す



■ ファクス



■ グループ



■ Eメール



■ Iファクス



■ ファイル



さらに詳しく知りたいときは

宛先を登録する ➡ ユーザーズガイド

PMW-RGDS

🔍 検索



検索番号の使いかた ➡ 裏表紙

パソコンから宛先の設定をするときは？

■ リモートUIから設定

リモートUIを使ってもアドレス帳の宛先登録や登録内容の確認、編集ができます。

リモートUIから宛先を登録する

➡ ユーザーズガイド

PMW-RGUI

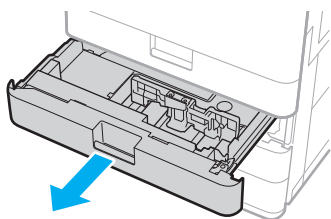
🔍 検索

用紙をセットする

給紙カセットにセットする

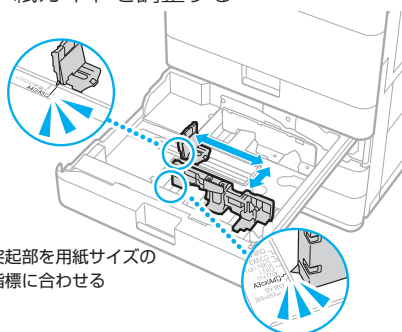
共通の操作は、給紙カセット2を例にして説明します。

1



2

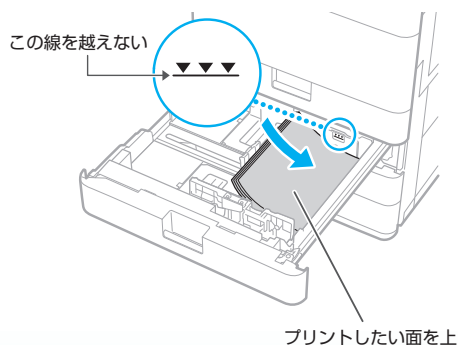
水色のつまみをスライドさせて、用紙ガイドを調整する



突起部を用紙サイズの指標に合わせる

3

用紙をよくさばいてからセットする



この線を越えない

プリントしたい面を上

4

カセットを本体に戻す

- ! カセットと本体のすき間に指をはさまないように注意してください。
- 💡 用紙のサイズを変更したときは、必要に応じて用紙サイズラベルを貼りかえてください。

用紙の種類を変えた場合は、必ず用紙設定を行ってください。

■ 用紙の設定をする

1

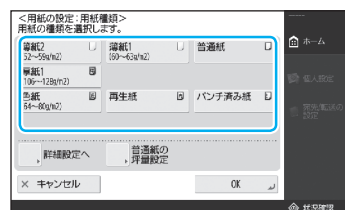
ホームで<設定 / 登録のショートカット>を押す

2

<用紙の設定>を押す

3

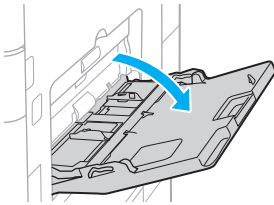
画面表示に従って、用紙のサイズと種類を設定する



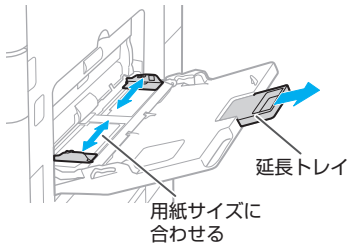
手差しトレイにセットする

① コート紙など、紙送りがうまくできない用紙の場合は、1枚ずつセットしてください。

1

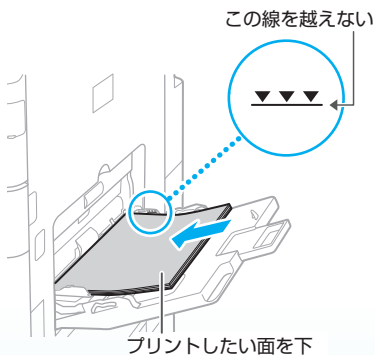


2 用紙ガイドを調整する

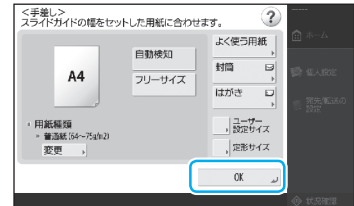


💡 大きなサイズの用紙をセットするときは、延長トレイを引き出してください。

3 よくさばき、平らな場所で用紙の端をそろえてから、セットする



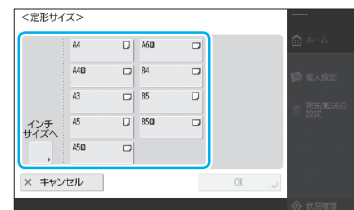
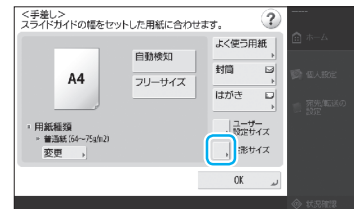
4 用紙のサイズと種類を確認し、**< OK >**を押す



■ サイズや種類がセットした用紙と異なる場合は

手順4の画面で、手動で設定を変更します。

1 用紙のサイズを設定する



用紙をセットする

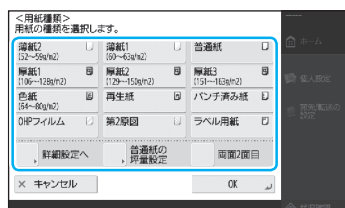
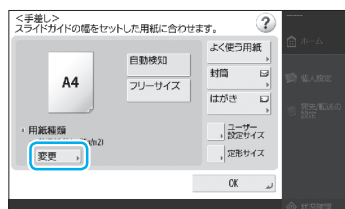
定形サイズ以外の用紙をセットするときは

手差しトレイにセットする ➡ ユーザーズガイド

PMW-SPMT

検索


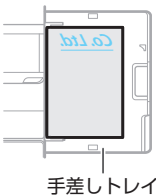
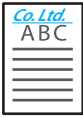
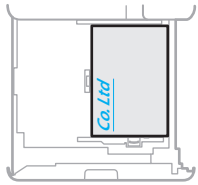
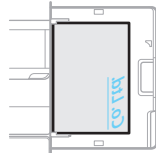

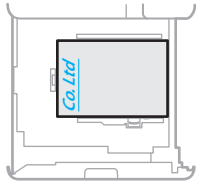


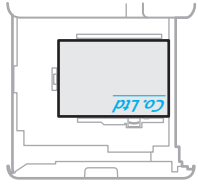


2 用紙の種類を設定する



ロゴ付きの用紙をセットする

下表を参考に正しい向きにセットしてください。

例) A4サイズの下紙にプリントする場合

置きかた		印刷結果
給紙カセット	手差しトレイ	
		
		
		
		

📌 ロゴ付きの下紙にコピーする場合 ➡ ユーザーズガイド

📌 下紙セットの基本操作

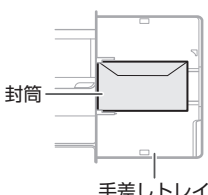
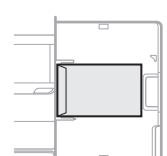
給紙カセットの場合 ➡ P.10

手差しトレイの場合 ➡ P.11

用紙をセットする

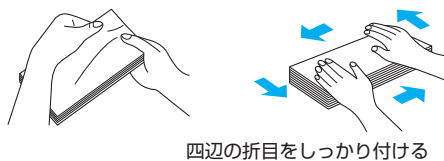
封筒をセットする

- ❗ 手差しトレイにセットできます。
- 封の部分にのりが付いた封筒を使用すると、定着器の熱や圧力により、のりが溶けることがあります。
- 封筒のウラ面（貼り合わせがある面）にはプリントしないでください。
- 封筒のオモテ面を下にしてセットします。セットする向きは下の表をご覧ください。

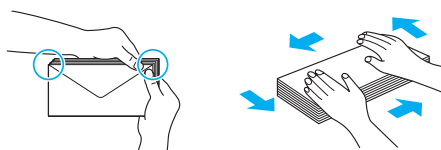
	手差しトレイ
洋形長3号 Monarch COM10 No.10 DL ISO-C5	
長形3号 長形4号 長形40号 角形2号	

封筒をセットする前の準備

- 5枚ほど手に取り、よくさばいてカールを取り、平らにならす

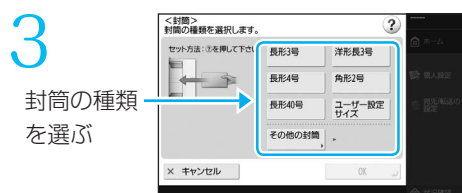
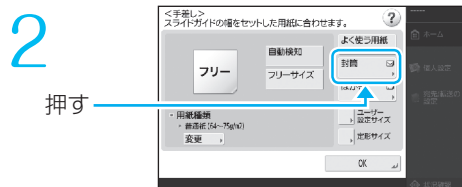


- 封の部分がめくれれないよう四隅をしっかりと押さえ、空気を抜く



手差しトレイにセットするときは

- 向きを確認し、封筒をセットする
- ❗ 手差しトレイの基本操作 ➡ P.11



- < OK >を押す

定形外の封筒をセットする

定形外サイズの封筒をセットすることができます。

定形外サイズの封筒を設定する

➡ ユーザーズガイド

PMW-SPDR

🔍 検索

📖 検索番号の使いかた ➡ 裏表紙

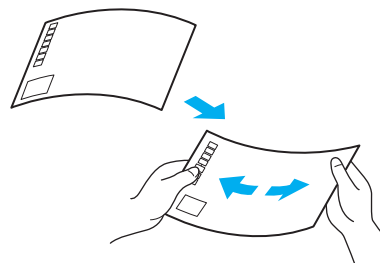
はがきをセットする

- ・手差しトレイにのみセットできます。
- ・インクジェット用の郵便はがきは使用できません。
- ・プリントしたい面を下にしてセットします。セットする向きは下の表をご覧ください。

	通信面	宛名面
はがき		
往復はがき		
4面はがき		

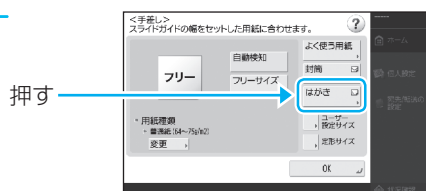
はがきにコピーする場合
➡ ユーザーズガイド

1 はがきのカールを取り、セットする



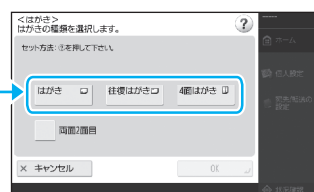
手差しトレイの基本操作 ➡ P.11

2



3

はがきの種類を選ぶ



印刷済みのはがきの裏面に印刷する場合は、<両面2面目>を押します。

4


< OK >を押す

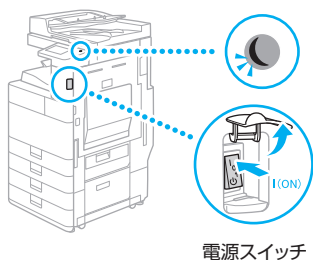
こんなときは…

故障かな?と思ったときは

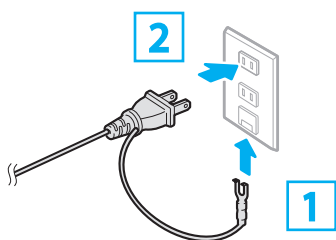
以下を確認してください。

- 電源は入っていますか?
- スリープモードになっていませんか?

タッチパネルディスプレイと  が消灯していたら、電源スイッチを押す。



- 電源コードは接続されていますか?



解決しないときは、以下を参考にしてください。

- ・ユーザーズガイド
 - ・Q&A検索
- (<https://cweb.canon.jp/e-support/index.html>)

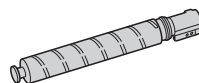
用紙がつまったときは

画面の指示に従って、用紙を取り除いてください。



消耗品を交換するときは

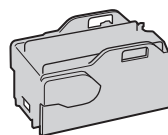
■ トナー容器



キヤノン純正トナー容器です。

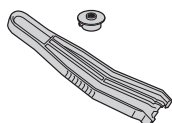
Canon Toner 061
(キヤノントナー 061)

■ ホチキスの針



ステイプル・P1
以下のオプションで使用できます。
インナーフィニッシャー・J

■ スタンブカートリッジ



スタンブインクカートリッジ・C1

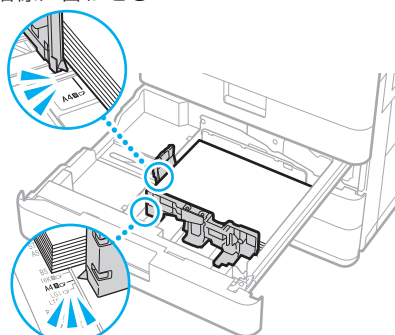
きれいに印刷できない

■ 印刷画像がずれる／斜めになる

確認!

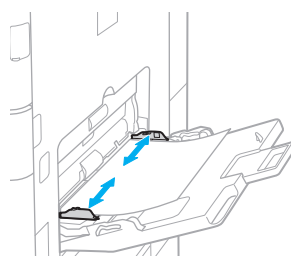
用紙ガイドがずれていませんか?

指標に合わせる



指標に合わせる

手差しトレイの場合



■ 画像にムラがある／かすれる

確認! ①

用紙が湿っていませんか?

湿っていない用紙と交換してください。

確認! ②

階調や濃度は適切ですか?

階調補正を行ってください。

- ① [設定/登録] を押す
- ② タッチパネルディスプレイで <調整/メンテナンス> ▶ <画質調整> ▶ <自動階調補正> を押す

画面の指示に従って、自動階調補正を行ってください。

詳しく知りたいときは、ユーザーズガイドをご覧ください。

階調を補正する ➡ ユーザーズガイド

PMW-AJGR

🔍 検索



検索番号の使いかた ➡ 裏表紙

こんなときは…

困ったときは？ ➡ ユーザーズガイド

PMW-TROB

検索

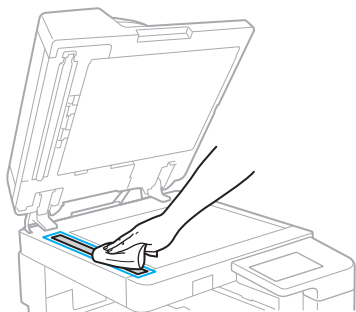
■ 黒いすじがつく

確認！

原稿読み取りエリアを清掃してください

- ① フィーダーを開き、水を含ませてかたく絞った布で拭き、そのあと乾いた柔らかい布で下側の原稿読み取りエリアを拭く

🌊 汚れ防止コーティングが取れてしまうので、ガラスクリーナーやアルコール溶剤等を使わないでください。



- ② フィーダーを閉じる

🌊 汚れを拭いても黒いすじがつくときは、フィーダーのクリーニングを実行します。
詳しく知りたいときは

➡ ユーザーズガイド

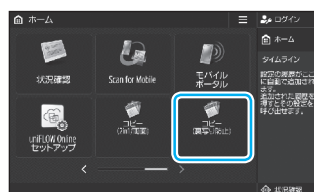
■ 裏写りする

確認！①

コピーの設定は適切ですか？

原稿が裏写りしている場合は、原稿の種類を設定するときれいにコピーすることができます。

- ① ホームで<コピー（裏写り防止）>を押す



- ② <はい>を押す

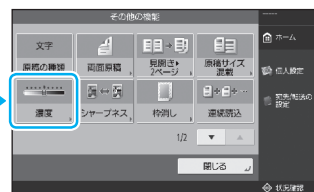
確認！②

背景の濃度は適切ですか？

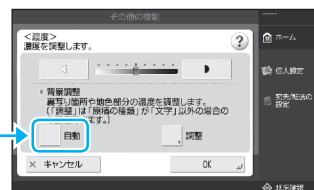
原稿が裏写りしている場合は、背景濃度を調整するときれいに印刷することができます。

- ① ホームでファンクションを選ぶ
- ② <その他の機能>を押す

例) ファクス



- ③ 押す



- ④ 押す

- ⑤ <OK>を押す

安全にお使いいただくために

お使いになる人やほかの人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載しています。本機をお使いになる前によくお読みいただき、正しくお使いください。また、このマニュアルに記載されていないことは行わないでください。マニュアルの記載に従わない使用は、不適切な使用か、弊社および弊社指定以外の第三者による修理／変更などによって生じた障害の責任は負いかねますのでご了承ください。

▲ 警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

▲ 注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

ご注意

操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルや故障、物的損害を防ぐために、必ずお読みください。

■ 化学安全情報について

製品の安全データシート (SDS) は <https://canon.jp/ecology/> に提供しております。

■ 設置について

本機を安全かつ快適にお使いいただくために、次の注意事項をよくお読みいただき、適切な場所に設置してください。

▲ 警告

火災や感電の原因となる場所には設置しない

- 通気口をふさぐ恐れのある場所 (壁の近く、ベッド、ソファ、毛足の長いじゅうたんの上など)
- 湿気やホコリの多い場所
- 屋外や直射日光の当たる場所
- 高温になる場所
- 火気のある場所
- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近く

その他の警告

- 本機の接続部には、定められたもの以外は接続しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- アクセサリーなどの金属や、液体の入った容器を本機の上に置かないでください。異物が内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。
- 万一、本機の内部に異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店、またはキヤノンお客様相談センターもしくは担当サービスにご連絡ください。

▲ 注意

次のような場所には設置しない

落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

- 不安定な場所
- 振動のある場所

ストッパーについて (付属製品のみ)

設置したあとは、本製品固定用のストッパーは外さないでください。本製品が動いたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

ご注意

次のような場所には設置しない

故障の原因になることがあります。

- 低温、低湿または高温、高湿の場所
- 急激な温度変化や湿度変化がある場所
- 磁気や電磁波を発生する機器に近い場所
- 実験室など、化学反応が生ずる場所
- 空気中に、腐食性または毒性のガスを含んでいるような場所
- 本機の重みによってゆがみや沈みが起きる可能性のある場所 (じゅうたん／畳の上など)

風通しの悪い場所には設置しない

本機の使用中は、オゾンなどが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさない程度です。ただし、換気の悪い場所で長時間使用する場合や、大量に印刷する場合に、快適な作業環境を保つため、部屋の換気をするようにしてください。また、本機からの排気が人体に直接当たる場所には設置しないでください。

結露の発生する場所には設置しない

部屋を急に暖めたり、温度や湿度が低い場所から高い場所へ本機を移動させたりすると、本体内部に水滴 (結露) が発生することがあります。そのまま使用すると紙づまり、印字不良、故障などの原因になることがありますので、2時間以上放置して周囲の温度や湿度に慣らしてからご使用ください。

コンピューターなどの電子機器や精密機械の近くには設置しない

電気的な原因や動作時の振動により、電子機器、精密機器などに悪影響を与えることがあります。

テレビ、ラジオなどの電子機器の近くには設置しない

テレビやラジオ、オーディオ機器に、画面のチラつきや雑音の発生などの受信障害が生じることがあります。本機とは別系統の電源を使用し、離して設置してください。

耐熱性の低いシートなどの上には設置しない

本機にはカセットヒーターが内蔵されています。オプションを装着せずに本機を机の上などに設置する場合、底面が熱くなるので、耐熱性の低いビニール製デスクマットなどへの設置はなるべく避けてください。

海拔3000m以上の高地の場合

ハードディスクを搭載している製品は、高地 (海拔3000m以上) で使用すると、正常に動作できない場合があります。

電話回線について

電話回線の抵抗値と本製品の抵抗値の合計が1700Ωを超える場合など、電話回線や地域などの条件によって通信できないことがあります。このようなときには、お買い求めの販売店、担当サービスまたはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。本機はNTTのアナログ回線に準拠しており、一般の加入電話回線のみ接続できます。ビジネスホンなどを接続している専用回線に接続すると故障の原因となる場合があります。必ず回線を確認してから接続してください。

無線LANを利用するとき

- 無線LANルーターとの距離が50m以内の場所に設置してください。
- できるだけ遮蔽物のない場所に設置してください。壁越しやフロア間の通信は、接続しにくくなります。
- デジタルコードレス電話機や電子レンジなどの電波を発生する機器からできるだけ離して設置してください。
- 医療用機器の近くで使用しないでください。本機からの電波が医療用機器に影響を及ぼし、誤動作による事故の原因になることがあります。

稼働音が気になる場合

お客様の使用環境や動作モードにより、稼働音が気になる場合は、事務所とは別の場所に設置することをおすすめします。

移動の際はご連絡を

本機の移動は、お客様ご自身で行わず、必ずお買い上げ販売店または修理受付窓口へお問い合わせください。

■ 電源について

▲ 警告

- 仕様外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 付属の電源コードを用いて本機を確実にアース端子付きコンセントに接続してください。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 付属の電源コードは本機専用です。他の機器に使用しないでください。
- 電源コードを傷つける、加工する、引っ張る、無理に曲げる、などの行為はしないでください。また、電源コードに重いものをのせしないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になることがあります。
- タコ足配線をしたり、延長コードを使用したりしないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込んでください。電源プラグがしっかりと差し込まれていないと、火災や感電の原因になることがあります。
- 雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災、感電、故障の原因になることがあります。
- 本機への電源供給が安全であること、安定電圧であることを確認してください。
- 電源コードを熱源器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になることがあります。

次のような取り扱いとは避けてください。

電源コネクタが接続される本機の差込口にストレスが強くかかると、本機の内部で断線や接触不良が発生し、故障や火災の原因になることがあります。

- 電源コネクタを頻繁に抜き差しする
- 電源コードに足を引っ掛ける
- 電源コードが電源コネクタ付近で曲げられ、本機の差込口に継続的なストレスがかかっている
- 電源コネクタに強い衝撃を加える

アース線を接続してください

- コンセントのアース端子に、アース線を接続してください。アース線を接続していないと、万一漏電した場合に感電の恐れがあります。コンセントにアース端子がない場合は、接地工事 (D種) が行われているアース端子に接続してください。
- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

次の場所にはアース線を絶対に接続しない

- 水道管: 配管の一部がプラスチックの場合、アースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管には接続できます。
- ガス管: ガス爆発や火災の原因になることがあります。
- 電話線のアースや避雷針: 落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になることがあります。

▲ 注意

非常時にすぐ電源プラグが抜けるように、本機をコンセントの近くに設置し、電源プラグの周囲に物をかかないでください。

ご注意

電源を接続するとき

- 電源コードを無停電電源に接続しないでください。停電発生時に誤動作や故障の原因になることがあります。
- 複数の接続口を持つコンセントに本機を接続した場合、残りの接続口にはほかの機器を接続しないでください。
- パソコン本体の補助コンセントに本機の電源コードを接続しないでください。
- 屋内漏電ブレーカーを介して配線されているコンセントの使用を推奨します。

その他の注意事項

- 電気的なノイズは、本機の誤動作、あるいはデータ消失の原因になることがあります。
- お使いの電源についてご不明な点は、電力会社またはお近くの電気店などにご相談ください。

取り扱いについて

▲ 警告

- 異音・異臭がする、発熱・発煙している、などの場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店、またはキャノンお客様相談センターもしくは担当サービスにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因になることがあります。
- 本機を分解、改造しないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になることがあります。
- 電源コード、ケーブル類、製品内部のギア、電気部品などに子供の手が届かないよう注意してください。思わぬ事故の原因になることがあります。
- 本機の近くで可燃性スプレーなどを使用しないでください。ガスなどの異物が本機内部の電気部品などに付着すると、火災や感電の原因になることがあります。
- 本機を移動させる場合は、必ず本機の電源を切ってから、電源プラグを抜き、インターフェイスケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインターフェイスケーブルが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグをコンセントに接続している状態でUSBケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になることがあります。

心臓ペースメーカーをご使用の方へ

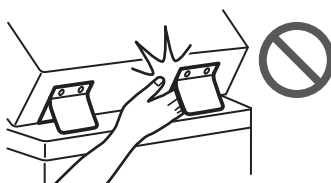
本機から微弱な磁気や超音波が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本機から離れ、医師にご相談ください。

▲ 注意

- 本機の上に重いものを置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちたりしてけがの原因になることがあります。
- 長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 開閉部を操作するときは、手を挟まないようにしてください。けがの原因になることがあります。
- 排紙部のローラーに触らないでください。巻き込まれて、けがの原因になることがあります。
- 使用直後は、内部や排紙口が高温になります。また、連続印刷すると用紙が熱くなることがありますので、取り扱いには注意してください。やけどの原因になることがあります。

フィーダーについて

- 原稿台ガラスに厚い本などをセットしてコピーするときは、フィーダーを強く押さないでください。原稿台ガラスが破損してけがの原因になることがあります。
- フィーダーは、手を挟まないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。
- フィーダーの奥に手や指を差し入れないでください。挟んでけがをする恐れがあります。



カセットについて

- カセットを抜き抜いた状態で、本体内部に手を入れないでください。けがの原因になることがあります。

節電キーについて

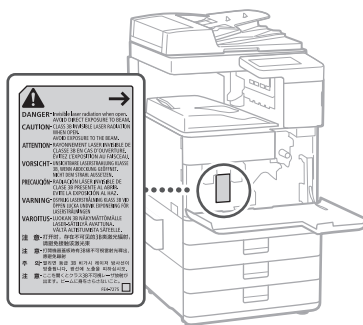
夜間など本機を長時間ご使用にならないときは、安全のため節電キーを押してください。また、連休などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源を切ってから、電源プラグを抜いてください。

レーザー光について

この製品はIEC60825-1:2014およびEN60825-1:2014においてクラス1レーザー製品であることを確認しています。レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本機では、レーザー光はカバーや外装で遮蔽されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配はまったくありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。

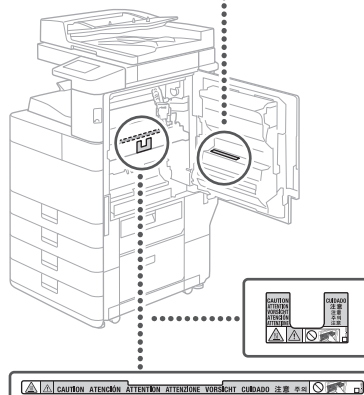
- このマニュアルで指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。
- マニュアルで規定された、制御、調整および操作手順以外のご利用は、危険な放射線の露出を引き起こす可能性があります。万一、レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。

レーザー光の注意表示



定着器について

本体内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまり処理などで内部点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。また、定着器周辺に直接触れなくても、定着器周辺の熱に長時間さらされないように注意してください。低温やけどの原因になることがあります。



ご注意

- 本機にあるラベルなどの注意表示に従ってください。
- 本機に強い衝撃や振動を与えないでください。
- 開閉部を無理に開け閉めしないでください。故障の原因になることがあります。
- 動作中に電源スイッチを切ったり、本機のカバーを開けたりしないでください。紙づまりの原因になります。
- モジュラーケーブル、USBケーブルには、3m以内の長さのものを使用してください。

■ 安全規格関連の注意マーク

- 電源スイッチオン (入り)
- 電源スイッチオフ (切り)
- スタンバイ (待機状態)
- プッシュプッシュスイッチ ■ "ON" ■ "OFF"
- 保護接地端子
- 内部に危険電圧有。カバーを外さないこと。
- 注意：高温、触れないよう注意してください
- クラスII機器
- 可動部有：可動部に触れないよう注意してください
- 注意：感電の危険有。すべての電源プラグをコンセントから抜いてください
- 鋭利なふち有。鋭利なふちに触れないよう注意してください

MEMO

お使いの機種によっては表記されていないマークもあります。

■ 保守／点検について

定期的な本機を清掃してください。ホコリなどがたまると、正しく動作しないことがあります。
お手入れをする際は、次の内容を必ずご確認ください。操作上問題が発生したときは、ユーザーズガイドの困ったときはを参照してください。それでも解決しない場合や点検が必要と考えられる場合には、お買い求めの販売店、またはキャノンお客様相談センターもしくは担当サービスにご連絡ください。

▲ 警告

- 清掃の前に、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。これをせずに清掃作業を行うと、火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグは定期的に抜き、付着したホコリや汚れを乾いた布で拭き取ってください。ホコリが湿気を吸って電流が流れ、火災の原因になることがあります。
- 清掃のときは、水で湿らせ固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤や、ティッシュペーパー、紙タオルなどは使用しないでください。これらが内部の電気部品などに付着すると、火災や感電、静電気発生の原因になることがあります。
- 電源コードや電源プラグは定期的に点検し、発熱、錆び、曲がり、擦れ、亀裂がないかどうか確認してください。損傷した状態で使用し続けると、火災や感電の原因になることがあります。

▲ 注意

- 本体内部には高温／高電圧部分があり、むやみに手を触れるとけがややけどの原因になることがあります。マニュアルで説明されている以外の箇所に手を触れないでください。
- 用紙を補給するときや紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切らないように、注意してください。

消耗品について

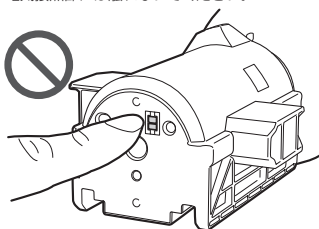
▲ 警告

- トナー容器や回収トナー容器は火中に投げないでください。また、トナー容器や回収トナー容器、用紙は火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。
- トナーをこぼした場合は、トナー粉塵を吸いこまないよう、掃き集めるか濡れた雑巾等で拭き取ってください。掃除機を使用する場合は、粉塵爆発に対する安全対策がとられていない一般の掃除機は使用しないでください。掃除機の故障や静電気による粉塵爆発の原因になる可能性があります。

▲ 注意

- トナーなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。万一、トナーを飲んだときは、直ちに医師に相談してください。
- トナーが衣服や手に付着したときは、直ちに水で洗い流してください。温湯で洗うとトナーが定着し、汚れが取れなくなることがあります。
- トナー容器は分解しないでください。トナーが飛び散って目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入ったときは、直ちに水で洗い流し、医師に相談してください。
- トナー容器からトナーが漏れたときは、吸い込んだり直接皮膚についたりしないように注意してください。皮膚についたときは、石鹸を使い水で洗い流し、刺激が残るときや吸い込んだときは直ちに医師に相談してください。
- 回収トナー容器を引き出す際は、落下に注意してください。けがの原因になる恐れがあります。

- スタンピングカートリッジを交換するときは、インクで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れたときは、直ちに水で洗い流してください。
- 電気接点部には触れないでください。



ご注意

- トナー容器は直射日光の当たらない涼しい場所に保管してください。
- トナー容器を立てて保管しないでください。

おことわり

本体製品名称について

この製品は、販売されている地域の安全規制に従って、以下の（ ）内の名称で登録されていることがあります。
Satera MF7525F (F177400)

電波障害規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
なお、通信ケーブルはシールド付をご使用ください。

VCCI-B

電波法について

本製品には、電波法に基づく工事設計認証を受けた特定無線設備（認可番号：010-100098）を用いています。

電波に関するご注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の放射を停止した上、お客様相談センター（お問い合わせ）へご連絡の上、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談センター（お問い合わせ）へお問い合わせください。

2.4 DS/OF 4

2.4 : 2.4 GHzの周波数帯域を使用することを示します。

DS/OF : 変調方式にDS-SS方式およびOFDM方式を採用していることを示します。

4 : 想定される干渉距離が「40 m以下」であることを示します。

——— : 全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」「アマチュア無線局」帯域を回避可能であることを示します。

高調波の抑制について

本機器はJIS C 61000-3-2 高調波電流発生限度値に適合しています。

■ 原稿などを読み込む際の注意事項

著作物、通貨、有価証券、公文書などを原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられることがありますのでご注意ください。

著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製、加工することは、個人のまたは家庭内その他これに準する限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製すると、肖像権が問題となることがあります。

通貨、有価証券など

次のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証券
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

公文書など

次のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

関係法律について

- 刑法
- 郵便法
- 著作権法
- 郵便切手類模造等取締法
- 通貨及証券模造取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 外国に於て流通する貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造二関する法律
- 印紙等模造取締法

■ 資源再利用について

キャノンでは環境保全ならびに資源の有効活用のため、リサイクルの推進に努めております。回収窓口が製品により異なりますので、以下の内容をお読みいただき、ご理解とご協力をお願いします。

使用済み複合機・プリンターの受け入れ場所について
使用済みとなった複合機・プリンターにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先にご注意してご連絡願います。



キャノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、回収されたオフィス用、使用済み複合機・プリンターのリサイクルを推進しています。

使用済みの複合機・プリンターの回収については、お買い求めの販売店、または弊社お客様相談センターもしくは担当の営業にお問い合わせください。

さい。

なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、廃棄物処理法に従い処分してください。

使用済みドラムユニット、トナー容器（カートリッジを含む）などの回収について

使用済みとなったトナー容器などにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。



キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、使用済みドラムユニットおよび使用済みトナー容器の回収とリサイクルを推進しています。使用済みドラムユニット、トナー容

器の回収については、担当のサービス店、または弊社お客様相談センターにお問い合わせください。

なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、トナーがこぼれないようにビニール袋などに入れて、地域の条例に従い処分してください。

本書について

画面について

文中で使われている画面は、特に注意書きがない限り、Satera MF7525Fにオプションの「2段カセットペディスタル・AN」を装着したものです。なお、オプションの組み合わせによって使用できない機能もありますが、この場合、画面にその機能は表示されません。

イラストについて

文中で使われているイラストは、特に注意書きがない限り、Satera MF7525Fにオプションの「2段カセットペディスタル・AN」が装着されているものです。



商標について

macOSは、Apple Inc.の商標です。

その他、本マニュアル中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

第三者のソフトウェアについて

お客様がご購入のキヤノン製品（以下、「本製品」）には、第三者のソフトウェア・モジュール（その更新されたものを含み以下、「第三者ソフトウェア」）が含まれており、かかる「第三者ソフトウェア」には、以下1～8のライセンス条件が適用されます。

1. お客様が「第三者ソフトウェア」に含まれる「本製品」を、輸出または海外に持ち出す場合は、日本国及び関連する諸外国の規制に基づく関連法規を遵守してください。
2. 「第三者ソフトウェア」に係るいかなる知的財産権、権原および所有権は、お客様に譲渡されるものではなく、「第三者ソフトウェア」の権利者に帰属します。
3. お客様は、「第三者ソフトウェア」を、「本製品」に組み込まれた状態でのみ使用することができます。
4. お客様は、権利者の事前の書面による許可無く、「第三者ソフトウェア」を開示、再使用許諾、販売、リース、譲渡してはなりません。
5. 上記にかかわらず、お客様は、以下の条件に従う場合のみ、「第三者ソフトウェア」を譲渡することができます。
 - お客様が「本製品」に関するすべての権利、および「第三者ソフトウェア」に関するすべての権利および義務を譲渡すること
 - お客様から譲渡を受ける者が、「本製品」に附帯する条件に同意していること
6. お客様は、「第三者ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、逆アセンブル、逆コンパイル、その他リバースエンジニアリング等することはできません。
7. お客様は、「本製品」に含まれる「第三者ソフトウェア」を除去したり、「第三者ソフトウェア」を複製してはなりません。
8. 「第三者ソフトウェア」中のソースコードについては、お客様にいかなるライセンスも許諾されません。

「本製品」には、上記1～8のライセンス条件にかかわらず、別途固有のライセンス条件が適用される「第三者のソフトウェア」が含まれます。「本製品」のプラットフォームバージョンをご確認のうえ、下記のホームページを参照していただき、該当するプラットフォームバージョンの取扱説明書に記載されている『付録』の「第三者のソフトウェアについて」をご確認ください。

<https://oip.manual.canon/>

「本製品」をご利用になられた場合には、お客様は、「本製品」に適用されるすべてのライセンス条件に同意したものとさせていただきます。お客様が、ライセンス条件に同意できない場合、担当サービスにご連絡下さい。

以上

V_190604

Memo



検索番号 の使いかた

1. オンラインマニュアル サイトを表示する

<https://oip.manual.canon/>

2. ユーザーズガイドを 選択する

[Satera MF] ▶
[モノクロ] ▶ 本機を選ぶ

3. 検索番号でユーザーズガイドを 検索する

ABCD-123



ご購入製品のユーザー登録のお願い



無償保証※および「保証書」電子発行（閲覧および印刷）

※製品によって無償保証期間は異なります。

NETEYE（ネットアイ）※やパッケージ型保守サービスのお申込み

※対象製品はホームページをご覧ください。

登録機器情報および保証期間、他サービス申込情報の確認

➡ 詳しくはこちら canon.jp/biz-regists

お問い合わせ

本機についてのご質問や修理のご依頼は、お買い上げ販売店または修理受付窓口へお問い合わせください。各種窓口は、キヤノンWebサポートホームページ（canon.jp/support）でご確認いただけます。

Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6

